軽登山分科会　富山（八犬伝の富山に登りました）

山行日：2019 年 1 月 20 日（日）

行　程：岩井駅 8：40－大蘇鉄―福聚院 9：10－伏姫籠穴 10：05－富山北峰 11：30/12：00－
－伏姫籠穴 12：55/13：10－道の駅冨楽里とみやま 13：50/14：20－岩井駅 14：45

朝方の寒さは身に染みるが、久しぶりの山の会の山行です。ウキウキした気分で出発する。幸い天気も良く風もありません。

岩井駅すぐ左の道を行くと、公園があり、南総里見八犬伝の主人公の伏姫と犬の八房の石像がひっそりと並んでいました。伏姫の像は小柄で寂しい姿、八房は堂々としてたくましい姿の犬です。富山のロマンを感じます。

踏切を渡り民家の並ぶ道を進む。庭が広くどの家にも水仙や椿が咲いてのどかな田舎の風景です。進むと稲刈り後の田んぼや畑が広がりあまり人の気配はありません。双耳峰の富山が、目の前に広がっています。

地元の学園のマラソンがあるためか父兄、学生さんたちの姿が多くみられ活気がありました。登山入り口まではかなり歩きました。水仙が道の両脇、畑、山の中腹まで咲き乱れています。

途中伏姫の籠窟の白壁の立派な門の前を通り中には入らず、階段の多い登りで頂上を目指しました。階段が続き角度がきついです。

北峰に到着。広い山頂で展望台もあり、東京湾、大島が見え海の青が冴え素晴らしい展望で満足しました。ただ雲が邪魔をし、富士山の姿は霞んで見えません。

下山は同じ道を下り元気な 2 人は伏姫の籠窟を見て下山。その後道の駅に寄り花、干物など購入しました。岩井駅までの帰り道は、強風に、あおられ体が飛ばされそうでした。時間がかかるため水仙歩道はキャンセルして帰途に着きました。

H11 年 2 月 5 月日皇太子、雅子妃富山ご散策・登山記念碑の前で。（雅子様のお印浜茄子、愛子様のお印御用つつじが植えてありました。）